

令和8年5月 日

港区町会・自治会連合会
役員各位

港区麻布町会・自治会連合会

会 長

副会長

港区町会・自治会連合会の役員選出及び会則改正に関する意見書

令和8年5月25日開催の港区麻布町会・自治会連合会（以下「本会」という。）の総会にて、本会の役員改選が決議され、麻布十番睦会の酒巻会長を本会の会長に選任いたしました。ついては、令和8年5月20日開催の港区町会・自治会連合会（以下「貴会」という。）役員会以降は、酒巻会長が本会の代表として貴会に参加いたします。

貴会役員会において、役員の選出及び会則の改正が検討されていると伺っております。

つきましては、貴会の役員選出及び会則改正に関して、本会の総意をお伝えしたく、下記の通り意見を表明いたします。

記

- 1 本会は、単一町会・自治会の会長こそが、各町会・自治会の現在の実情を正確かつ確実に把握しているものと認識しております。このため、本会の常任理事及び役員については、原則として町会等の長をもって充てると規約に定めております。

これは、町会等の長たる方が、各町会の活動実態や課題認識をつぶさに把握し、それらを適切かつ確実に対外的に発信できるからです。

このため、本年5月25日開催の本会総会にて、上記のような本会の基本的な考え方を再確認した上で、麻布十番睦会会長の酒巻氏を本会会長に選任いたしました。

- 2 上記1のとおり、単一町会等を束ねる町会連合会については、単一町会等の会長職にある方が参加し、単一町会等の会長職の中から、役員を選出すべきと考えております。

また、東京都町会連合会（以下「都町連」という。）への参加者については、貴会の会長こそが適切だと考えております。

これは、都町連、貴会は、トップダウン構造ではなく、各町会等が連帯すべきとの意思をもって設立された各地区町会等連合会が、更なる発展を希求し構成されるボトムアップ構造だと認識しているためです。

よって、単一町会等の実情や課題認識を町会長等が各地区町会等連合会に伝え、各地区町会等連合会会長が貴会にて、それぞれの地区の実情や課題認識を共有し、貴会会長が都町連で意見具申することが本来の組織構造だと考えます。逆を返せば、単一町会等の会長でない方では、各町会等の実情や課題認識、今後の展望を適切かつ確実に都町連に意見具申することは困難だと考えます。

- 3 貴会が風通しの良い組織として、今後も発展を続けていくためには、定期的に代表者が交代し、都町連と連携した取組を進めていくべきものと考えます。

以上